

5 本時の展開

【C9】

- (1) ねらい いじめ防止のために自分たちにできることを考え、話し合いにより集団決定することができる。
- (2) 準備 ワークシート（C1、C3、C7） 付せん紙 話し合いポイントカード（C4～C6）  
いじめ防止活動事例資料 議題・めあて・いじめ四層構造の図（C8）等の掲示物
- (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	○指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
<p>1 議題と提案理由、めあての確認を行う。</p> <p>(1)本時の議題と活動のめあてを知る。</p> <p style="background-color: #ffff00; padding: 2px;">[議題] いじめを防止するために自分たちにできることを考えよう。</p> <p style="background-color: #ffff00; padding: 2px;">[めあて] お互いの考えを大切に話し合いをしよう。</p> <p>(2)話し合いを行う際の注意点を知る。</p>	<p>10分</p>	<p>○事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ分け</li> <li>・資料配付（C1、C3～C7）</li> </ul> <p>○議題とめあてを確認し、これまでの事例学習や課題解決活動を振り返らせ、学んだことを本時に生かそうという意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめを構成する四つの立場があり、それぞれの立場で考える必要があること</li> <li>・嫌だと思いをすればいじめだということ</li> <li>・話し合うことで、協力して課題解決できること</li> </ul> <p>○「誰もいじめの【加害者】【被害者】【観衆】【傍観者】（以下、【四つの立場】）にさせないために、自分たちにできる防止策を考える。」という話し合いの方向性を明確に示しておく。</p> <p>○話し合いは「議題」・「めあて」・「話し合いポイントカード」に従い進めることを確認する。</p> <p>○【四つの立場】が生まれる原因をあらかじめ提示することで、話し合いの焦点化を図る。</p>
<p>2 話し合い（集団討議）</p> <p>(3)【四つの立場】が生まれる原因をもとにいじめ防止のために自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動案を【いつ】【どこ】【どうやって・どんな人に】【どうする・どうしてあげる】【選んだ理由】の5つの項目に分けて付せん紙に書き、ワークシートA（C1）上の台紙に貼り付ける。</li> </ul> <p>(4)班員から出された活動案を吟味し、実際に取り組む活動を話し合っ決めて。</p>		<p>○話し合いポイントカードは次の3種類に分けて提示し、生徒がポイントをおさえやすくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えを出し合う場面用（C4）</li> <li>・出された考えを検討する場面用（C5）</li> <li>・役割を割り振る場面用（C6）</li> </ul> <p>◎いじめ防止活動の事例をまとめた資料（いじめ防止活動事例資料）を提示し、具体策を考えるきっかけとする。</p> <p>○他校の活動をまねるのではなく、このクラスオリジナルのいじめ防止活動を考えるよう促す。</p> <p>○ワークシートAから活動案の書かれた付せん紙を台紙ごととはがし、吟味したうえでポジショニングマップ（C3）に貼るよう指示する。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポジショニングマップを使い、             <ul style="list-style-type: none"> <li>①原因を解消できるか。</li> <li>②自分たちにできるか。</li> </ul> </li> <li>・吟味した活動案を、台紙ごとポジショニングマップのⅠ～Ⅳに貼り付ける。</li> </ul> <p>(5)ワークシートB（C7）を使って、決定した活動を役割分担する。</p> <p>(6)【四つの立場】の代表が、これから取り組んでいく活動を発表する。</p>	<p>35分</p>	<p>○同じ内容の活動案は、提案者の了解を得た上で台紙ごと一つにまとめるよう指示する。</p> <p>○ポジショニングマップ上の活動案の散らばり具合によって支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅰに集中している場合は、よりよい活動にするためにはどうしたらよいかを話し合うとともに、優先順位を考えるよう促す。</li> <li>・Ⅰに一つも活動案がない場合は、Ⅱ～Ⅳの活動案をⅠにするためにどこを改善すればよいかを話し合うよう促す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>◇自他の意見を尊重し、折り合いをつけながら話し合いをすることができる。</p> <p>【思考・判断・実践】</p> </div> <p>◎すべての班員の意見を聞き、全員が納得するまで話し合うよう促す。</p> <p>○役割を割り振る際には、これまでに取り組んだ課題解決活動の様子を振り返らせ、それぞれがもつよさを生かして役割を割り振るよう助言する。</p> <p>○全体で確認することで、学級としてどんないじめ防止活動を行っていくのかを共有できるようにする。</p>
<p>3 振り返り</p> <p>(7)本時の活動を振り返り、ワークシートで自己評価をする。</p>	<p>5分</p>	<p>○自己評価が終わったら、他のメンバーの頑張っていた点を付せんに書き、交換させることで、お互いの頑張りを認め合えるようにする。</p>

(4) 板書計画

○【傍観者】をださないために  
(原因) (解決策)

○【観衆】をださないために  
(原因) (解決策)

○【被害者】をださないために  
(原因) (解決策)

○【加害者】をださないために  
(原因) (解決策)

みんなで  
取り組む  
いじめ防止  
活動

↓

いじめの  
四層構造の図

十月十八日(金)  
学級会  
めあて お互いの考えを大切にして  
話し合いをしよう

議題 いじめを防止するために  
自分たちができることを考えよう